

# 令和5年度青森市社会資本整備評価委員会 会議概要

## 1 開催日時

---

令和5年11月21日(火) 13:30~15:30

## 2 開催場所

---

青森市役所 本庁舎3階 会議室3

## 3 出席者

---

### 《委員》

委員長 足達 健夫

副委員長 松田 英嗣

委員 大坂 美保、黄金崎 勉、松井 克明 計5名

### 《事務局》

都市整備部 部長 清水 明彦、理事 土岐 政温

都市整備部都市政策課 課長 櫻田 文明 外2名

### 《案件担当課》

都市整備部道路建設課 課長 小田 一彦 外2名

浪岡振興部都市整備課 課長 沢田 和則 外2名

水道部下水道整備課 課長 小笠原 秀輝 外3名

都市整備部公園河川課 課長 嶋守 亮 外2名

## 4 審議案件

---

### 《公共事業再評価》

- ・案件第1号 篠田地区融流雪溝整備事業
- ・案件第2号 北中野地区融流雪溝整備事業
- ・案件第3号 青森市公共下水道事業(八重田処理区)
- ・案件第4号 青森市公共下水道事業(新田処理区)

### 《社会資本総合整備計画事後評価》

- ・案件第5号 都市公園等事業[都市公園等の長寿命化と安全安心なまちづくり]

## 5 案件資料

---

### 《公共事業再評価》

- ・公共事業再評価調書
- ・説明資料

### 《社会資本総合整備計画事後評価》

- ・社会資本総合整備計画事後評価書
- ・説明資料

## 6 会議概要

公共事業再評価について案件第1号～第4号及び社会資本総合整備計画事後評価第5号の審議を行ったが、市の評価結果に対し異論はなかった。

以下、主な意見、質疑応答の内容。

発 言 者	内 容
	<b>【案件第1号 篠田地区融流雪溝整備事業】</b>
委 員	地域の人たちが協力して流雪溝を使用しているのは融流雪溝の運用にあたり組合などをつくっているのか。
道路建設課	地元の方に組合をつくっていただいている。
委 員	融流雪溝と流雪溝の違いは何か。
道路建設課	止水板があるかどうか。融流雪溝は止水板を設置し水を溜め、雪を溶かしていくという構造になっている。流雪溝は止水板がない。
委 員	過去に整備した地区の実際の利用状況はどうか。
道路建設課	直近で整備した筒井桜川地区では、非常に有効に活用いただいている。
委 員	冬の間は常時、水が溜まっている状態なのか。
道路建設課	常時ポンプを動かしていると、電気代が非常に大きくなってしまうので、組合のほうで会費を見ながら運用していただいている。
委 員	雪が一気に降ったとしても、融流雪溝は期待された機能を果たせていると思うか。
道路建設課	使用者が同時に投雪してしまうと、ある程度雪が溢れることはあるが、分散して投雪いただくことで、溢れる回数は少なくなっている。
委 員	融流雪溝は流雪溝に比べ止水板があることから、そこに雪が溜まり、溢れる確率が高くなると思うのだが。
道路建設課	まとめて投雪されると、可能性はある。気温が低いときは水温も低いので、雪が溶けにくくなることから、組合へは気温がマイナス何度以下のときは極力雪を捨てないようにしてくださいとお願いをしている。
委 員	融流雪溝が整備された地区というのは、通常の除排雪の頻度が低くなるのか。

発 言 者	内 容
道路建設課	除排雪の頻度は同じである。車道の雪は残っているので、基本的には他の地区と同じような除雪をしている。ただ、除雪で両脇に寄せた雪が、融流雪溝があるところはこまめに片づけていただけるので、排雪のボリュームというのは減ると考えている。
委 員	過去の地区も全く同じスペックで融流雪溝をつくっているのか。
道路建設課	考え方は一緒である。
委 員	先ほどの説明で電気代がかかるという話でしたが、組合が電気代を負担するということでよいか。
道路建設課	その通りである。組合に加入している方から年会費をいただいて、その会費の中で運用している。
委 員	維持管理費の根拠をお示しいただきたい。
道路建設課	整備した側溝であるとか、例えば、ポンプも長年使っていると故障とか出てくるので、その辺の耐用年数が過ぎた場合に交換や補修する費用を見込んでいる。
<b>【案件第 2 号 北中野地区融流雪溝整備事業】</b>	
委 員	事業終了年度が令和 10 年度であるが、残り約 3,000 メートルを整備するのに間に合うのか。
都市整備課	社会資本整備総合交付金の交付期間は、交付を受けてから 3 年～5 年としていることから、あくまでも次の事業再評価が行われる令和 10 年度をまず、終了年度としている。確かにこのペースで進めていくと、令和 10 年度では厳しいところではあるが、国の予算を配分してもらえるよう働きかけながら、整備が終わった区間については順次供用開始し、効果を発揮していきたいと考えている。
委 員	不動産の価値という視点から見れば、融流雪溝については価値が少し上がることから、空き地問題の対策の一助にもなると思う。
委 員	説明時に融流雪溝を県道につなげるという話をしていたが、県道の整備は県で整備しているのか。
都市整備課	はい。県道の方はすでに融流雪溝が整備されていて、そちらの方へ利用した水を排出する形で整備を考えている。
委 員	篠田地区との B/C に差が出た理由は何か。

発 言 者	内 容
<p>都市整備課</p> <p>事 務 局</p>	<p>大きな要因としては、やはり、交通量というところがかなり影響している。</p> <p>篠田地区との関係性ということで、「走行時間の短縮」が大きいと分析していて、要するに通過台数が篠田地区と北中野地区では、篠田地区の方がかなり多いので、「便益の効果の差」掛ける「台数」で乗じるとどうしても篠田地区の方が、便益が大きく出る。北中野地区の方が、通過台数が多くないことから、便益が大きく出ない。以上のことからB/Cに差が出たと考えられる。</p>
<p>委 員</p> <p>下水道整備課</p> <p>委 員</p> <p>下水道整備課</p> <p>委 員</p> <p>下水道整備課</p> <p>委 員</p> <p>下水道整備課</p>	<p>【案件第3号 青森市公共下水道事業（八重田処理区）】</p> <p>【案件第4号 青森市公共下水道事業（新田処理区）】</p> <p>リブ付塩化ビニル管の耐用年数はどのくらいか。また、硫化水素の影響などないか。</p> <p>耐用年数は約50年となっている。硫化水素の影響については、通常のコンクリート管に比べて強い材質となっている。</p> <p>ガス発電の便益というのは費用便益の計算には入らないのか。</p> <p>発電の便益は含まれていない。便益において、2つの便益と残存価値ということで計上している。ガス発電による二酸化炭素の軽減でいうと、環境に対する改善効果に含まれると思うが、それをお金に換算する手段がなく、マニュアルにも載っていないため含めていない。</p> <p>費用便益比が八重田処理区「2.223」、新田処理区「1.414」となっており、この大きく差がでているのはどのあたりなのか。</p> <p>八重田処理区については昭和27年度から、新田処理区については昭和51年度から事業に着手しており、事業期間の長さが違うことから、その影響で便益などが年数で大きく差が出ているのが要因となっている。</p> <p>八重田浄化センターは民間事業者に委託して発電していて、売電は電力会社に行っているのか。</p> <p>発生する消化ガス、可燃性のガスを業者へ売り、発電事業そのものは民間業者へ委託して、売電は民間業者の方で電力会社へ売却している。</p>
<p>委 員</p>	<p>【案件第5号 都市公園等事業[都市公園等の長寿命化と安全安心なまちづくり]】</p> <p>公園施設というのはどういった概要なのか。</p>

発 言 者	内 容
公園河川課	遊具、ベンチ、外柵などの園路、公園をつくるもの全てを総称して公園施設と呼んでいる。例えば広場とかそういったものも公園施設の中に含まれている。
委 員	交付金事業の要件に遊戯施設を除くと書いているが。
公園河川課	防災安全交付金事業の交付要件について、原則として2ヘクタール以上の都市公園は、公園施設を更新する交付金が上がってくるが、2ヘクタール以下の公園に関しては、遊具のみということになっている。公園の面積によって更新できる施設の対象が変わってくるというのが交付金の要件となっている。
委 員	将来的に防災に関して、都会にあるマンホールトイレやベンチトイレなどがある防災公園を作っていただけると市民も安心できるのではないかなと思っている。